

1 研究主題


**学び合いを通して、自他のよさに気づき 豊かな生活を創りだす子ども(仮)**

2 主題設定の理由

- ・学校教育目標
- ・今日的課題
- ・児童の実態と教師の願い

- ・ひとたびやる気を出すと、そのエネルギーはすごい！意欲的、責任感あふれる。
- ・基本的に明るく、人懐っこい。
- ・遊ぶことが大好き
- ・けんかもあるが、なかよしである。
- ・正直でわかりやすい。

←よさを自信に 火をつける仕掛け



特別活動を窓口にしなが  
らすことによつて学ぶ→

- ・自分たちで協力して物事をやり遂げる経験値が少ない。
- ・主張はするが、自己本位の場合が多い。
- ・問題に対して、声の大きい者、なかよしの意見に左右されがち。
- ・よりよい関わり方（思いをはせる）ことが苦手。
- ・きまりの意味はわかっているが、実行できない。

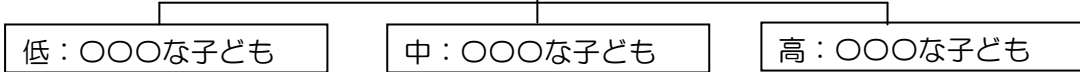
3 研究のねらい

(1) 研究の目的

特別活動（主として学級活動）を中核に、「子どもづくり・人間づくり」を第一に考えて各教科や道徳等と関連を図りながら、子ども「一人ひとり＝個」を育てると同時に「集団」を育てる。

(2) めざす子ども像

学び合いを通して、自他のよさに気づき 豊かな生活を創りだす子ども



(3) 研究の視点…p3 参照

**視点1：＜心の耕し＞**  
教科・道徳等の充実を図り、共同の課題（議題）を表出させる工夫

**視点2：＜相手意識や目的意識を大切にしたい話し合い活動＞**  
だれのために、なんのために  
自己決定・集団決定（折り合い＝合意形成）

**視点3：＜よりよい自分・集団への高まり＞**  
ふり返えらせ方の工夫、価値づけ（次回への意欲の高め方）

**視点4：＜よりよい学級経営＞**  
留意点・優れた手法等の可視化 研修の工夫

#### 4 研究の方法と内容

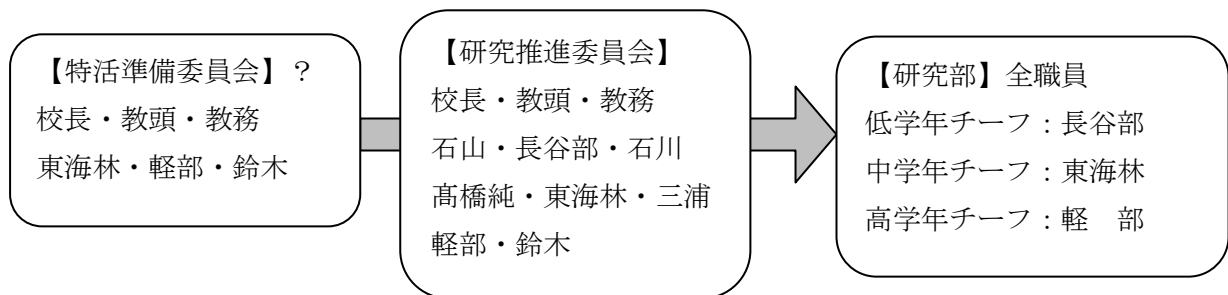
##### (1) 研究の方法

- ①学級活動の授業を中心としながら、各教科や道徳の授業においても、「かかわり（＝学び合い）」に特化した授業研究を行う。（研究の日常化）→学級経営案とリンク  
詳細については、後日提案
- ②各学年の発達段階に応じた、めざす子ども像とその手立てを明確にし、授業実践にあたる。  
→P4～7 参照
- ③学校行事や児童会、クラブ活動においても、子ども側にスタンスをおく。
- ④各種の研修（子どもを見る目、育てる手法等の可視化、研究だより等の情報提供など）を通し、あるべき指導者の姿として必要な力を高める。

##### (2) 具体的な「学び合い」のイメージ

P8 参照

#### 5 研究組織



#### 6 研究計画

P9 参照

#### 7 研究全体構想図

P10 参照

#### 8 その他

- (1) 指導案形式 後日提案（5月連休明けに提案→5月15日以降に再提案）
- (2) 研究のまとめ（ゴール） 後日提案 中間研究紀要？
- (3) 10月19日の公開に向けて 後日提案 当日までの日程（進捗表） 準備物  
助言者 案内 駐車場 パンフレット 当日の日程等々  
配付物

研究の視点

【4つの視点】

望ましい人間関係 よりよい生活創造 自主的実践的

【共同の課題を見つける＝議題を選定する場面】

- ・ やりたいことを表出させるには？
- ・ 課題を見つける方法は？問題意識の掘り起しは？
- ・ どんな手立てにより議題を選定するのか？

議題ポスト？日記？



視点1

<心の耕し>

- ・ 道徳の時間の充実
- ・ 日常生活から考えさせる意識

話し合い活動前に、司会団へどんな指導をするのか？

- ・ 話し合いの手引き（リーダーバージョン？）

話し合い活動前に、フォロアーへはどんな指導をするのか？

- ・ 話し合いの手引き（フォロアーバージョン？）

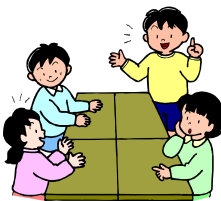
視点2

<相手意識や目的意識を大切に話し合い活動>

- ・ 指導案形式
- ・ 他教科での授業

【みんなで話し合う活動】

- ・ 話し合い活動の基本型を学び→型から離れるように
- ・ 司会団へどんな指導を？  
司会者・黒板書記へ
- ・ 話し合い活動の活性化（白熱化）のためには？
- ・ 自己決定・集団決定（折り合い、合意形成）



【みんなで協力して実践する体験活動】

- ・ 話し合ったことが活かされているか？
- ・ 感動体験や協力体験
- ・ 失敗体験

視点3

<よりよい自分・集団への高まり>

- ・ ふり返らせ方  
～自分・集団～
- ・ 価値づけ
- ・ 次回への意欲

【話し合い活動をくぐらせた実践をふり返る活動】

- ・ ふり返りカード？
- ・ 実践の日記？作文？
- ・ 良さの可視化、掲示物の工夫？

これまで【指導】  
していたものを、まず子ども  
に考えさせる。  
→①気づかせる  
→②子どもに  
自己決定させる

本当の意味での子ども主体にしていく  
教師の意識改革…子どもの声を聴く  
<学級経営>のトーンを、全校で同調させていく

視点4

<よりよい学級経営>

- ・ 留意点・工夫の可視化

### 話し合い活動を核として社会的な実践力を育てる活動プロセス




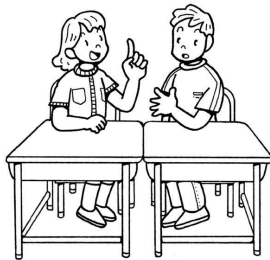
- ①学級のみんが協力して、自分たちの学級をよりよいものにしていくために、話し合って総意を決め、実践することが大切だと感じるような体験
- ②自分の学級生活への願いや課題は、集団に働きかけ、集団活動を介して解決したり、達成したりすることができるということがわかる体験。
- ③自分がよりよい生活をするためには、所属する集団(学級等の友だち)がとても大切だと感じさせるような人間的触れ合いによる感動体験やその友達たちと力を合わせて、協力し合い、助け合うことにより学級が確かによりよいものになったという達成観や成就感を味わう体験
- ④学級のみんがひとつの目標に向かって活動するとき、自分の欲求をうまく充足できなかったり、自分がみんなとうまくいかなかったり(人間関係)することがあるということを知り、このことをなんらかの方法で乗り越える(解決する)体験
- ⑤自分の役割について一生懸命やって、学級のために貢献することができたという満足感とその努力が他の児童生徒から認められる自己有用感や存在感を感じる体験

### 話し合い活動を核として自己指導能力を育てる活動プロセス



- ①児童生徒自身に、「自分の、この問題はなんとかしなければならぬ」と感じる体験
- ②自分自身の問題や悩みを解決したり、解消したりするためにはどうしたらよいかについて、友だちの意見も参考にしながら、自分で考えたり判断したりする体験
- ③自己決定に基づいて実践、実行したことにより、努力したことが自分にとってプラスになったと感じる体験。(実際に問題が完全に解決したり解消したりしなかったが、「努力することは大切なんだ」という「考え方」や「感じ方」をもてるようにする体験。)
- ④自己決定したことを実行するために努力していく過程で、他の友だちからの励ましや応援の大切さを感じる体験。

【例】 1 発達段階に即した「つきたい力」（特別活動全般）

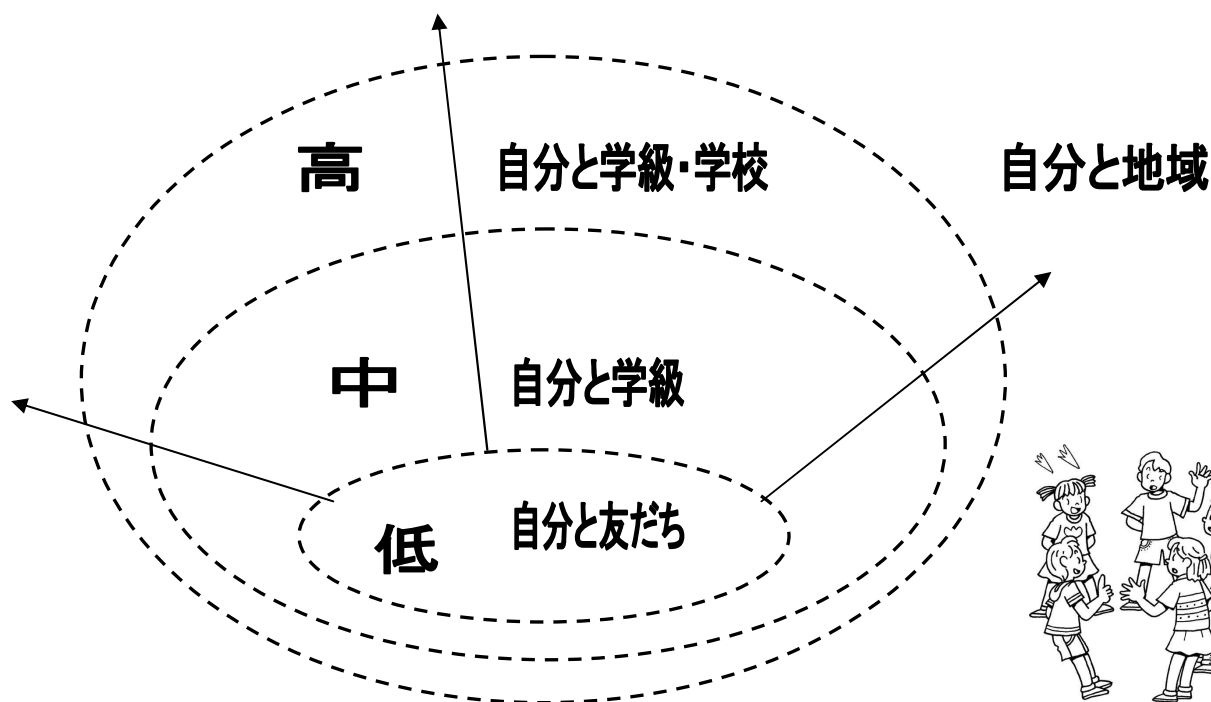
	低学年	中学年	高学年
時期	<b>小1707レム</b> 自己中心性が徐々に減少していく時期。	<b>われわれ意識</b> 自分への認識と同時に、仲間意識が深まる時期。	<b>思春期へ(不安や悩み)</b> 学級全体としての仲間意識や学校全体に対する課題意識等をもつ時期。
集団活動の発達の特質	個々の児童の単なる集合の段階で、感情的、衝動的な言動が多く、集団生活にうまく適応できない。(入学当初) 2、3人の小グループで仲よく活動できるようになるが、流動的で結び付きも弱い。(第1学年後半) 仲間としての結び付きもその期間も次第に長くなり、協同的な活動ができるようになってくる。(第2学年)	ある程度共通に理解して持続して集団活動を行うことができるが、まだ、個人的な興味・関心や要求に動かされることが多い。(第3学年) リーダー的な児童を中心に教師の力を借りなくてもある程度の計画的な活動ができるようになり、自分たちでまわりをつくって守ろうとするなどの自主性も増してくる。(第4学年)	自分たちで決めた集団の活動目標を大切にす。実践の振り返りや改善もできる。理想主義、一面的、独断的、相手に批判的、自分の価値判断に固執しがちになる。(第5学年) 最高学年としてリーダーシップを発揮、役割や責任を自覚して活動するようになる。不安定な感情が大きくなり、人間関係に悩む、消極的、進学への不安を抱く。(第6学年)
特質をふまえた視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級や学校における集会活動や係活動などを通してみんなと一緒に活動する楽しさを体感させる。</li> <li>学級会において友達の意見をしっかりと聞くことの大切さを理解して話合いができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しい学級生活づくりのための係活動などの協同の活動の充実を図る。</li> <li>多様な集団に所属して望ましい人間関係を築く態度を形成するための活動を充実させる。</li> <li>より大きな集団においても個人と集団が調和的に発達できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下学年の児童の面倒をみたり、より高い目標をもって様々な役割を担う体験を通してたりして、困難を越えて目標を達成できるようにする。</li> <li>このことについて互いが認め合えるようにしたりして、自分への自信がもてるようにする。</li> </ul>
子ども像	<b>仲良く助け合い学級生活を楽しくしようとする子ども</b>	<b>協力し合って楽しい学級生活をつくろうとする子ども</b>	<b>信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくろうとする子ども</b>
つきたい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 周りの児童と仲よく助け合う力</li> <li>○ 身近な人に親切にする力</li> <li>○ みんなのために働く力</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 互いに理解し合う力</li> <li>○ 友達を思いやる力</li> <li>○ みんなで協力し合う力</li> <li>○ 進んでみんなのために働く力</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な集団に積極的に参画する力</li> <li>○ 高学年の一員としての自分の役割を自覚する力</li> <li>○ 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする力</li> <li>○ 互いに信頼し合い男女仲よく協力する力</li> <li>○ 主体的に責任を果たす力</li> <li>○ よりよい校風をつくろうとする力。</li> </ul>

(「小学校学習指導要領解説 特別活動編」より)

【例】 2 発達段階に即した「つきたい力」（学級活動）

形態	話し合い活動	係活動	集会活動
低学年	<b>仲良く助け合い学級生活を楽しくしようとする子ども</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の指導の下、進行等の役割を担う。</li> <li>友達の意見を良く聞く。</li> <li>自分の意見を言う。</li> <li>集団決定をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創意工夫できる係の活動を見つける。</li> <li>仲良く助け合って活動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が主導する集会に楽しく参加する。</li> <li>集会の内容を選択する。</li> <li>簡単な役割や準備を担う。</li> </ul>
中学年	<b>協力し合って楽しい学級生活をつくろうとする子ども</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の指導の下、活動計画を作成する。</li> <li>司会等の役割を果たす。</li> <li>異なる意見もしっかり聞く。</li> <li>理由を明確にして意見を言う。</li> <li>折り合いを付けて集団決定をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整理統合して、創意工夫を生かした係活動を組織する。</li> <li>積極的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験を生かし、ねらいを明確にして、創意工夫を加える。</li> <li>計画や運営、準備などの役割を担う。</li> </ul>
高学年	<b>信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくろうとする子ども</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の助言を受けながら、活動計画を作成する。</li> <li>話し合いの方法等を工夫して運営する。</li> <li>学校生活にも目を向ける。</li> <li>自分の言葉で建設的な意見を述べる。</li> <li>多様な意見を生かして集団決定ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のよさを積極的に生かせる係に所属する。</li> <li>継続的に活動する。</li> <li>高学年としてふさわしい創意工夫のできる活動に重点化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童会活動やクラブ活動の経験を生かす。</li> <li>互いのよさ、反省を生かす。</li> </ul>

（「小学校学習指導要領解説 特別活動編」より）





【例】低学年の「めざす子ども像」に向けての具体的な支援等

「仲良く助け合い学級生活を楽しくしようとする子ども」

場面	育てたい力	つきたい力 (例)	教師の支援	
学級会の前に	課題発見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスをめあてにむかっている</li> <li>・ていあんカードがかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒学級目標を掲示し、シンボルマークやクラスの歌をつくって意識化させる (例)</li> <li>⇒学級活動コーナーに議題ポストを設置する (例)</li> </ul>	
	議題設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○はなしあってぎだいをえらべる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒学級目標に向かっているもの、話し合う価値の高いものが選べるように企画委員会に入ってアドバイスをを行う</li> </ul>	
	自分の考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合うことがらについて、自分なりの考えを準備しておこうとしている。(関心・意欲・態度)</li> <li>・簡単な理由をつけて、小柱ごとに自分の考えをもつことができる。(思考・判断)</li> <li>・学級活動ノート (例) に自分の考えを書くことができる。(技能・表現)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒提案理由に注目させ、話し合うことの重要性に気づかせる</li> <li>⇒学級活動ノート (例) を作成し、使い方に慣れさせる</li> <li>⇒書けない子どもにはいくつかの例を示し、選択させる</li> </ul>	
	企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師とともに、司会や記録の練習をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○しかいのれんしゅうができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒司会メモを作成し、声を出して練習させる</li> <li>⇒企画委員会で、予想される発言を整理し、記録係と共に、話し合いの流れをつかませておく</li> </ul>
学級会	学級会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを進んで発表することができる。(技能・表現)</li> <li>・自分の考えと同じ考えに、うなずきや拍手を返すことができる。(技能・表現)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんで手をあげる</li> <li>・わかりやすいはっぴょうをする</li> <li>・ともだちのいけんをしっかりきく</li> <li>・あいづちをうったりはくしゅをしたりする</li> <li>・わからないことをきく</li> <li>○わかりやすいしかいをする</li> <li>○わかりやすいこくばんのしごとをする</li> <li>○たくさんの人にあてる</li> <li>○まとめてきめることができる</li> <li>○めあてをたっせいさせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒学級活動ノート (例) に、励ましやアドバイスの朱書きをしておく</li> <li>⇒動作化や絵を使った発表など、工夫の仕方を事前にアドバイスする</li> <li>⇒「聞き方カード (例) を活用し、スキルを身につけさせる</li> <li>⇒日常より、コミュニケーションのよさを体感させておく…各教科との連動</li> <li>⇒質問の仕方 (言葉) やタイミングをその場で教える</li> <li>⇒教師が近くについて、声の大きさや流し方のアドバイスをを行う</li> <li>⇒座席表を活用させる</li> <li>⇒話し合いの流れをもとに、どんなまとめ方をするか、アドバイスする</li> <li>⇒振り返りの時間を確保する</li> </ul>
		実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会で決めたことを友だちと協力して実行しようとしている。</li> <li>・活動を最後までやりとげようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じぶんのしごとをがんばる</li> <li>・みんなときょうりよくする</li> </ul>
実践	反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できたことを喜び合う。(関心・意欲・態度)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たのしくさんかする</li> <li>・めあてにちかづく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒振り返りカード (例) を作成し、自分や友達のがんばりを書かせる</li> <li>⇒振り返りカード (例) をもとに集団の変容を明らかにし、教室に掲示する (よさの可視化)</li> </ul>

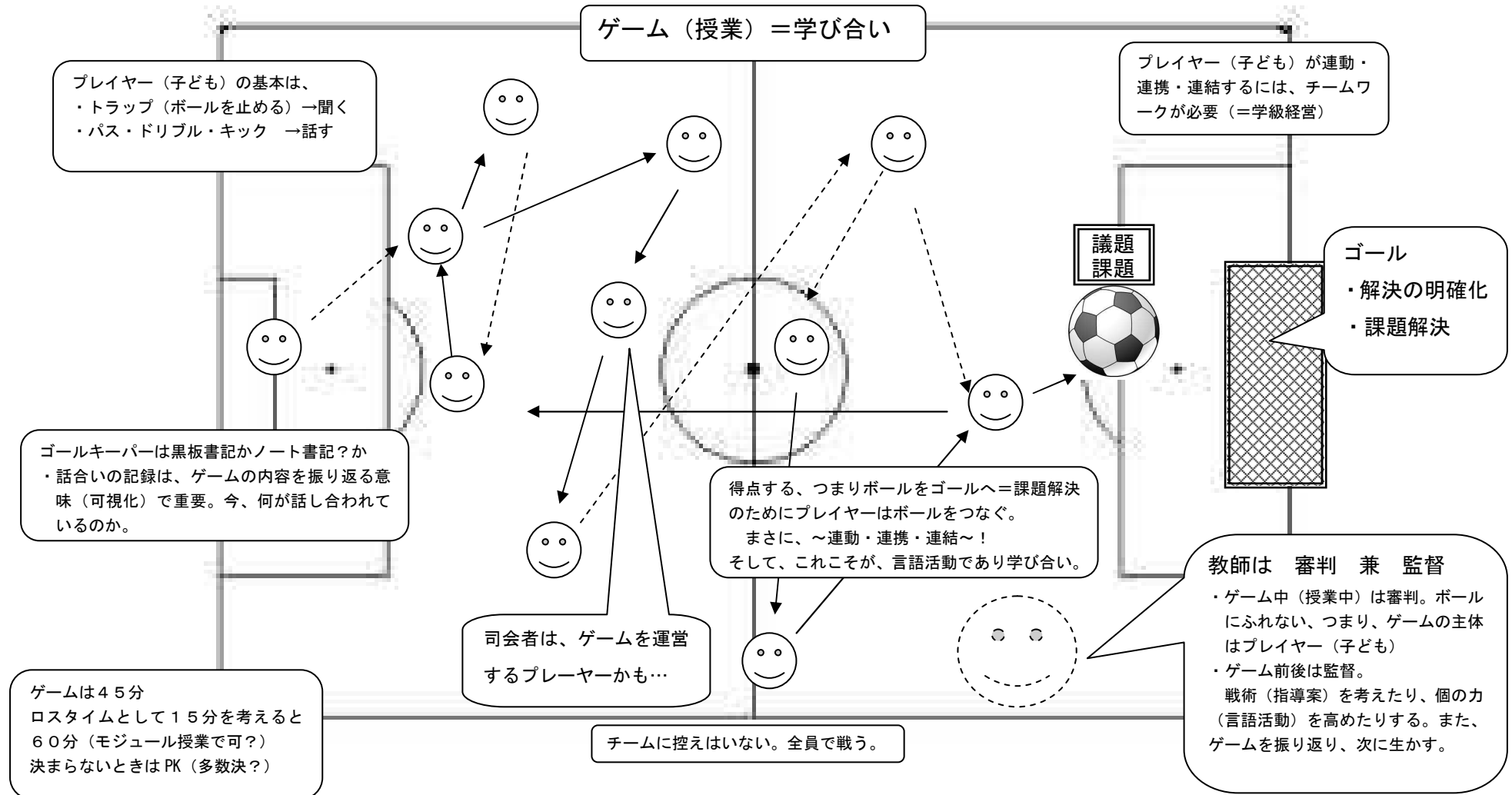
※○印は司会グループの「つきたい力」例

# Road to J1 (モンテとともに、J2から這い上がろう!)



◎現在の長岡小を J2 ととらえると … H24 は J2 スタート → H25 の東北大会 (J1) をめざそう…

◎今年のモンテのチームテーマは、**連 (連動・連携・連結)** これはそっくり授業に当てはまる。





研究計画 (4月末現在の予定: 日程等の変更あり)

			低学年		中学年		高学年		特別支援		
月	日	(曜日)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	おひさま なかよし	備 考	
4	4	水	研究推進委員会① (今年度の研究の方向性 他)								
4	11	水	研究全体会①(研究の方向性等)								
5	15	火				4-1 東海林		6-3 鈴木		授業研究会① 愛知教育大: 久野 市教委: 中田	
5	23	水	研究推進委員会②(指導案形式検討等)								
6	18	月		2-1 石川				6-2 宮坂		指導主事招聘 授業研究会②	
7	17	火	1-2 大塚				5-1 三浦			指導主事招聘 授業研究会③	
7	24	火	研究全体会②(7月までの成果と課題: 学年部による10月の指導案検討会など)								
7	30	月	研究推進委員会③(7/24の修正指導案の検討)								
8	17	金	研究全体会③(10月19日に向けての役割等)								
9	24	月			3-2 沼澤				おひさま なかよし	指導主事招聘 授業研究会④	
10	19	金	1-1 長谷部	2-2 竹田	3-1 高橋純	4-1 東海林	5-2 柏倉	6-1 軽部 6-3 鈴木	おひさま なかよし	市公開研 各学年発表	
助言者 (敬称略)			市教委 石澤	村教事 井上	南沼原小 武田	市教委 中田	大寺小 秋葉	山形大 野口	教センタ 佐藤	全体指導・助言 愛知教育大 久野	
11	28	水			3-3 蜂谷	4-2 (沼澤)				指導主事招聘 授業研究会⑤	
			授業研究会⑤および研究全体会④(今年度の成果と課題: 来年度東北大会に向けて)								
			予定なので、日時の変更が予想されます。また、研究推進委員会や研究全体会等、必要に応じて入ることがあります。								

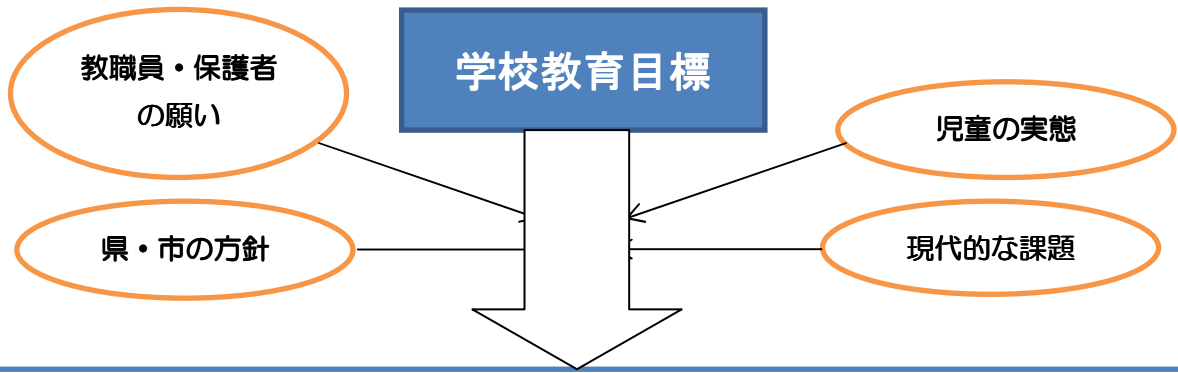
◎基本ラインとして、10月19日前までに、各学年とも1回は指導主事招聘授業研究会(大研)を行う。

◎5月6月は、クラス替えのあった学年は除く。

◎上記の他に、各教科・道徳・(学活)で、「子ども同士が必ずかかわる授業」(小研)を行う。指導案は、本時案のみでOK。

また、研究の日常化という意味合いから、まるまる一時間でなくても、かかわる場面を重点的に、お互いの授業を見合うこととする。

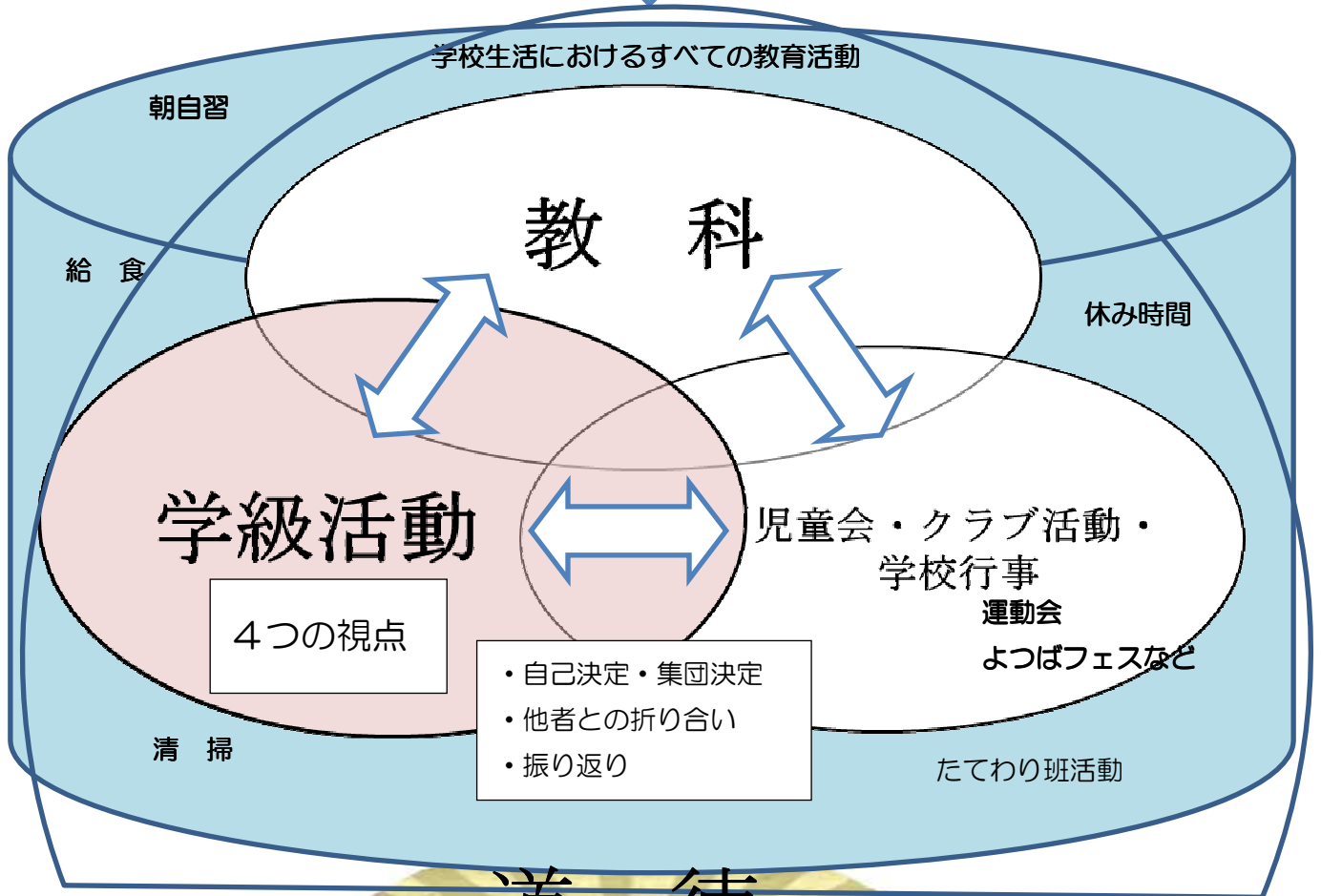
★指導案検討においては、基本的に時間をあわせて学年部で行う。(詳細については、研究日より等で時期が近付いたらお知らせします。)



めざす子ども像のキーワード 「望ましい人間関係」「よりより生活創造」「自主的実践的」

研究テーマ 「学び合いを通して、自他のよさに気づき、  
豊かな生活を創りだす子ども」 県？本校？（仮）

## 意 ⇄ 欲



## 道徳

